貫井の風

令和３年度１０月号
ＮＯ．６

練馬区立貫井中学校　学校だより

最高の自分になるために

（ドロシー・ロー・ノルト）

校長　桐野　和之

皆さんにとって大切なことについて考えてみたいと思います。皆さんには毎日の生活のなかで、大切にしていることがたくさんあると思います。どんなことを大切にしているのでしょうか。このたよりが配付されたら、自分なりに思い浮かべてみてください。大切なことは、きっと、人それぞれだと思います。学年によっても、大切にしてることはきっと違うと思います。各自が思い浮かべたことはきっとさまざまだと思います。

アメリカのドロシー・ロー・ノルトさんは、「一番大切なこと」という詩の中で、ドロシーさんが考える「大切なこと」を１６あげています。ドロシーさんがどのようなことを大切にしていたのか、紹介します。

「順番を守ること」「自分の役割を果たすこと」「人の役に立つこと」「やると言ったことはやること」「人と一緒にいる時間を大切にすること」「ルールを守ること」「自分にできることだけを約束すること」「やり始めたことは最後までやり遂げること」「本当のことを話すこと」「家族を思う気持ちを伝えること」「間違いや失敗から学ぶこと」「人の過ちは許してあげること」「正しいことをすること」「自分の体を大事にして体に良いことを実行すること」「最高の自分になるためのことを惜しまずやること」「自然の美しい世界をしっかり見つめること」の１６のことをドロシーさんは一番大切なことだと考えているのです。

そして、ドロシーさんは１６の「大切なこと」の後に、必ず「そして胸を張れる自分になりましょう」という言葉を付け加えているのです。この１６の「大切なこと」の中に、皆さんが考える「大切なこと」が入っていたでしょうか。この１６の事柄はどれも大切でおろそかにできないことばかりだと思います。皆さんには、「最高の自分になるためのことは惜しまずやりましょう。そして胸を張れる自分になりましょう」ということについてしっかり考えてくれたらと思います。

最高の自分になるためにどんなことをしたら良いのか、これには成果は無いと思います。けれども、最高の自分になるためには、まず、自分が、どんな人間なのか考えてみる必要があります。考えるとき、ドロシーさんの１６の言葉をヒントにして考えると良いと思います。

例えば、ルールを守っているか。人の過ちは許しているか。間違いや失敗から学んでいるかなどです。そして、少しでも今の自分がどんな自分なのか分かったときに、今度は、最高の自分とはどんな自分なのか考えてほしいと思います。最高の自分になるためには、どんなことをどれだけしたら良いのか。それは、自分が決めることです。誰かから、このようにやりなさいと指示されてやることではありません。皆さんには皆さんそれぞれのやり方や進み方が必ずあるはずです。それぞれの歩み方は違っても「最高の自分になるための努力を惜しまずにやる」ということは、人としての共通の目的です。目的に向かっていつも最善を尽くし、より良い自分をつくりあげてください。

「今、卒業生は」

令和２年度卒業生

今回、私の高校受験体験をお伝えする機会を得ましたのでどうぞおつき合いください。

私は、この春から都立西高校に通っている。毎日が平日のように忙しく、休日のように楽しい。そんな日々を過ごしている。

小学校の時、西高の記念祭へ遊びに行った際に自由すぎる校風（責任ある自由）に一目惚れしてしまい、私の第一志望校は決定した。中三になり、進路選択の時期となった。併願校選びは苦労した。折角高校へ進学するならば、趣味であるゲームプログラミングと園芸が部活を通して出来る高校を探していたが、それが出来る高校は少なかった。さらに、説明会等に参加してみて自分と同じような雰囲気を持つ人が集まる校風や部活の掛け持ちを許可できる高校（意外に少ない）を探した。また、大学へ進学する際、やりたい事が多数ある私は、自由に大学を選びたい為、付属高校は避けた。以上を考慮し併願校を決めた。

高校入学後に頑張っている事は、園芸部、数学研究同好会の活動と、各行事をクラスで団結して成功させる、そして趣味のゲーム時間、勉強時間の確保だ。行事や部活は全て生徒主導で行う為、昼休み、放課後、帰宅後（ライン会議等）ほぼ全ての時間を部活と行事に捧げるのだ。運動会でさえ体育の授業時間を使わせていただけないので、放課後や土日に皆で集まって練習する。高校生活は割と忙しい。西高には「授業で勝負」という合言葉がある。授業中に内容を理解する為に集中して授業に臨むというものだ。私もそのようにして、自宅での学習時間を少なくするよう努めている。しかしながら、一学期中にゲームが出来たのはほんの数回であった・・・。

最後になるが、受検では学力と共に精神力が大切だ。進路決定の際、周囲に流されない力、自分を律して頑張る力、成績が振るわない時もめげない力、何よりも根拠なき自信を持つ事！皆さんを心から応援しています。

令和２年度卒業生

貫井中学校の皆さんはお元気ですか。私は貫井中卒業生の立道季子です。現在は都立高校の外国語コースに通っています。この文が進路に悩んでいる人や受験へ不安を抱いている人、または勉強や部活、学校外の事を頑張っている人への応援になればと思います。

先人の言葉に一つのドアが閉まるとき別のドアが開く、というものがあります。しかし中学生の私はこの言葉を逆に覚えてしまいました。一つ扉を開ければ別の扉は閉まる、と。そのため将来の夢、勉強したいことを一つに決められなかった私は、後先考えずに進路を決めると将来少しでもやってみたい事ができても始める事が難しく、諦めざるを得なくなってしまうと進路について決めきれずにいました。そして悩んだ結果、進路を決めたのは英語を話せるようになりたい、という憧れからでした。皆さんも数学を頑張りたいとか留学してみたいとかスポーツなど大会で上位を目指したいと多少なりとも思ったことがあるのではないでしょうか。私はその様な小さな思いから進路を決めました。今でもこの決め方で良かったのかは分かりません。しかし、その進路を選んだことに後悔はありません。ただ、どの道を進んだとしてもその道に対する努力とやる気は必要です。進んだ先でも様々なことを学んでください。

さて、私は約半年間の高校生活で実感したことがあります。それは、高校によって生活が全く変わってしまう、ということです。高校名だけを見ると、どの高校も変わらないように見えますが、中身は全く違います。宿題が多い学校、土曜授業が少ない学校、

文武両道を掲げる学校があれば自由な校風の学校、教科数も全然違います。その中から一つを選ぶのは難しいことです。楽しく明るいこれからを過ごせることを願っています。
　最後に、高校は中学校とも違います。義務教育ではない、という所もそうですが、顔なじみが少なくないという人が多い、という中学と高校は雰囲気が違います。自分より努力を重ねている人、運動がとてもうまい人、ある教科がすごく得意な人、と本当に様々な人がいます。そんな中で自身の甘さや苦手が大きなプレッシャーになるかもしれません。が、その時はもっと頑張ろうと、その人達を目標にと、ポジティブに考えてみて下さい。一年生も二年生も三年生もまずは目の前にあることから頑張って下さい。

生徒用タブレットの利用ルール

　現在、学校では生徒用タブレットが授業及び新型コロナウイルス感染予防対応による緊急事態宣言下のさまざまな状況の中で利用されています。
　課題、授業の動画・画像・パワーポイント資料等が配信されています。また、欠席あるいは出席停止となっている生徒との面談等にも利用することがあります。
　適切に使用すれば大変便利で、有効に活用ができます。しかし、その利用の仕方を間違えると、違法行為に繋がりかねない場合もあります。生徒の皆さんには、あらためてタブレットを配付した際の利用ルールを確認してほしいと思います。また、適切な利用により、より良い学びへ有効活用をしてください。

①タブレットは学習などの教育活動のために使うことが目的です。教育活動に関わること以外には使用しない。
　※教育委員会や学校において、不適切な使用をしていないかを確認することがあります。ルールが守られない場合は、タブレットの利用を制限する場合があります。

②学校、家庭および学校から指示がある場所以外では利用しない。
③自分のタブレットを、他人へ貸したり使わせたりしない。
④不要な通信を防ぐため、タブレットを使用しない時はＬＴＥドングルを取り外しておく。
⑤学校から指示がある時以外は、写真の撮影や録音・録画はしない。
⑥故障や破損、紛失等があった場合は、すぐに学校へ報告する。
⑦配付されたアカウントおよびパスワードは、自分のタブレットのみで利用し、家庭のパソコンや他人のタブレットでは利用しない。
⑧自分や他人の個人情報（名前や住所、電話番号など）は、インターネット上に絶対にあげない。
⑨学習に関係がないWebサイトの閲覧や利用、SNSへの書き込み、写真や動画の配信等は絶対にしない。
⑩他人の作品や表現を使用する時には、許可を得る。
⑪１ヶ月あたりの通信容量には、上限があります。（１ヶ月あたりのデータ容量は５GBです。超過した場合は速度制限がかかります。）また、セキュリティー管理上外部機器との接続は行わない。

授業風景 １年ＡＢ組英語少人数指導９／１７

２つのクラスを３つに分割して授業を行っている。

場所は４階と３階の学習室とＡ組の教室。４階の学習室で、英語でのあいさつ、天候の確認、体調を尋ねるなど、先生と生徒の英語での会話からスタート。その後、生徒用タブレットを使用してクラスルームに提出された生徒たちの課題の回答をいくつか紹介していた。This is～ Ｓhe is～ He can～などを使って自分のお気に入りのアーティストを紹介していました。アーティストの画像のなども取り入れながら英文での表現をし、大変立派なものに仕上がっていました。また、他のクラスをのぞくと、ＡＬＴの先生が来ていました。先生の英語による、Repeat after me のかけ声で生徒たちが確かな発音で単語の読み方をくり返し練習していました。

進路指導資料等の配付と活用

学校よりさまざまな配布物が家庭宛に配付されますがお家には届いているでしょうか。最近では都立高等学校合同説明会、２０２１オンライン東京私立中学高等学校説明会・相談会の案内が全学年に向けて、進路指導の参考資料として配付しています。

資料の活用にあたり、一番旬な時期として捉えてほしいのはもちろん第３学年の生徒たちですが、１年生や２年生にもぜひ活用してほしいものです。

特に中学校卒業後の「進路先を考えるきっかけ」としてほしいと考えています。また、コロナ禍で説明会の実施。都立高校では３つの開催方法から自分に合った参加方法が選択できるしくみを取っています。

１つ目は会場型個別相談会、２つ目は学校別個別相談会、３つ目はオンライン個別相談会です。私立はオンラインでの説明会、相談会を実施しています。今後もこのようなオンライン等を活用したしくみによる説明会や相談会が実施、継続されることも想定できます。新たなしくみに慣れながら自らの将来を考えるきっかけにしてはいかがでしょうか。